



ぜんこく ふくし こうとう せうがう かい
全国福祉高等学校長会

こう こう ふく し まな

高校で福祉を学ぼう



ぜんこく ふくし まな こうとう
全国には福祉について学ぶことのできる高校があります。

「福祉」って何？

福祉と聞いて、あなたは何をイメージするでしょうか？自分のおじいちゃんやおばあちゃんをイメージするという人もいます。『興味はあるけれどよくわからないな』とか『なんとなく大変そうだな』『自分にはまだ関係がないな』と思う人もいるのではないのでしょうか。

福祉は誰のためのもの？

福祉は誰のためのものなのでしょうか。高齢者や障がいのある人だけのものなのでしょうか。そして、福祉について考えたり、活動したりするのは誰なのでしょうか？福祉の仕事をしている人だけが行えばよいのでしょうか。



例えば、もし

例えば、もし、あなたのおじいちゃんが歩けなくなったとしたら、おじいちゃんにあなたがすることは何でしょうか？杖の使い方や車いすについて学ぼうとするのではないのでしょうか。でも、杖や車いすが使えれば、それだけでいいのでしょうか？

福祉って何だろう？

「福」という字にも「祉」という字にも「しあわせ」という意味があります。「ふだんの」「くらしを」「しあわせにすること」とも言います。私たちはどうしたら幸せだと感じるものなのでしょう。ただ何かをしてくれるだけではなく、自分の気持ちや考えを聞いてもらえたら、嬉しいと感じる人は多いのではないのでしょうか。



福祉を学ぶ場所は？

小学校や中学校で「高齢者体験」「車いす体験」をしたという人もいます。より詳しく学びたい、もっといろいろなことに触れたり、感じたりしたいという人は高校で福祉を学ぶ道もあります。

高校で学ぶ福祉は？

全国には高校で福祉について学ぶ高校生がいます。福祉といっても実はいろいろあります。高齢者について学ぶ高齢者福祉、障がいのある人について学ぶ障がい者福祉、子どもについて学ぶ児童福祉等、いろいろな福祉があります。



福祉を必要とするのは

私たちには皆幸せになる権利があります。日本国憲法でも、国民は誰もが一人ひとり大事にされ、幸せを願う気持ちは大切にされなければならないと書かれています。それは高齢者も障がい者も子どももみんな同じです。幸せになるお手伝いをするのが福祉と言えます。福祉を必要とするのは実は私たちみんななのです。

福祉を行うのは誰？

では、福祉は誰が行うものなのでしょうか。福祉について考えたり活動したりするのは、介護職員といった専門家だけではありません。家族のお世話をする人、身近な人のお手伝いをする人、ボランティア等も福祉を支える大事な人です。

福祉の心が生きる場所は

福祉を学ぶことは、福祉以外の仕事でも役立ちます。



●建築関係●

段差を取り除くバリアフリー、みんなにとって過ごしやすい空間を作り出すユニバーサルデザインなど、福祉の知識が建築関係でも活かせる場面があります。

けしょうひん かんけい
●化粧品関係●

お化粧が筋肉を鍛えりハビリにもつながることがあります。また、お化粧を通して心が元気になることがあります。元気な気持ちを取り戻すきっかけになることもあります。



●まちづくり●

社会生活を送る上で不自由な場所があればその街では安心して暮らせません。多くの人にとって過ごしやすい空間を作り出すために福祉の考え方が活用されています。

しょくひん かんけい
●食品関係●

病気や障がいのため食事面で配慮が必要な人がいます。噛んだり、飲み込んだりすることが難しい人に対して安全でおいしい介護食を開発する上でも福祉の考え方が活かされています。



かいご しごと ひと
介護の仕事って何だろう？

介護では、病気や障がいがある人が生活する上で必要なお手伝いをします。その人のからだや気持ちの状態に合わせて、その人に必要な介護をします。

例えば、食事、移動、入浴、着替えのお手伝い、口腔ケア、ベッドメイキングなどです。話を聞いたり、楽しい時間を過ごしてもらったりする工夫もまた大事な役目です。



いろいろなことが勉強できます。

福祉を学ぶ高校で取ることができる主な資格 ※学校により異なります。

- 介護福祉士（国家資格）
- 介護福祉士実務者研修
- 介護職員初任者研修
- 福祉住環境コーディネーター
- 社会福祉・介護福祉検定

福祉を学ぶ高校生の全国大会

【全国生徒体験発表】

福祉に関する学習を通して感じたこと、考えたこと、それまでと変化したこと等を発表するコンテストです。地区の審査を経て、全国場で発表します。

【全国高校生介護技術コンテスト】

福祉を学ぶ高校生による介護技術コンテストです。地区大会を勝ち抜いた代表校が出場し、課題に対して利用者の方にとってよりよい介護技術を検討し、競技、説明をします。



高校で福祉を学んだ先輩にインタビュー



Q 高校で福祉を学んだ感想は？

A 福祉を学ぶ前は「福祉と言ったら高齢者や障がい者」と思っていました。もちろんこれらのことも学ぶけれど「ひと」の心と身体について全般的に学ぶことができたと思います。

Q 高校生活で得たことは？

A これが正解だよ！というものはないけれど、相手を尊重したり傾聴したりと、人と関わる上で大切なことを学びました。何かに対して考え抜く力がつき、最後まで頑張れば必ず努力は報われると学びました。

Q 校外実習で感じたことは？

A 実習中特に印象に残ったことは利用者さんとコミュニケーションを取る中で「頑張ってるね」や「体を大切にね」と励ましの言葉をいただいたことです。「ありがとう」と言っていただけでとても嬉しかったです。

高校で福祉を学びたいと感じたら

福祉の勉強をする中で、たくさんの人に出会い、たくさんの経験ができます。

学費を応援する制度もあります。

【福祉系高校修学資金貸付事業】

【公益財団法人SOMPO福祉財団「介護福祉士養成のための奨学金給付制度」】

【一般社団法人日本ユニットケア推進センター「福祉系高校生介護福祉士取得支援奨学金」】

